

※令和4年度実績については令和4年12月末日現在の実績です。

神奈川県共同募金会瀬谷区支会

赤い羽根共同募金 **6,331,024円**
 年末たすけあい募金 **1,612,763円**
 合計 **7,943,787円**



善意銀行とは

地域の皆様の善意に基づく金銭・物品をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。



704,475円

日本赤十字社瀬谷区地区委員会 会費 5,220,494円

日本赤十字社 瀬谷区地区委員会 災害義援金

<義援金名>	<件数>	<金額>	<受付期間>
● 令和4年3月福島県沖地震災害義援金	1件	1,522円	令和4年3月23日～令和4年6月30日
● 令和4年8月3日からの大雨災害義援金	1件	5,000円	令和4年8月12日～令和5年3月31日
● 令和4年7月大雨災害義援金	1件	5,000円	令和4年8月8日～令和4年10月31日

★義援金は、全額を被災地の自治体にお送りし、市町村を通じて被災した方に届けられます。

賛助会費納入協力状況報告

世帯賛助会費 **5,557,975円**
 法人・個人会費 **329,000円**
 合計 **5,886,975円**

● 賛助会費とは

賛助会費は、瀬谷区内の地区社会福祉協議会と地域福祉活動団体の運営を支援するために、地区社協へ55%の還元、ふれあい助成金の財源として活用しています。

● 賛助会員とは

本会の実施する事業に対して、ご賛同いただき、1年ごとに会員という形で地域の福祉活動を財政面で支えていただく世帯・個人・法人・団体の方々のごことです。

● 賛助会費の種類

- 世帯賛助会費 (1口1,000円)
- 法人賛助会費 (1口5,000円)

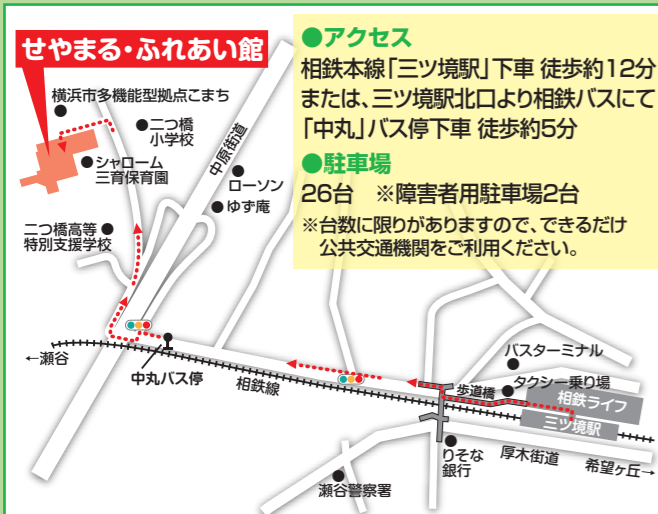
個人の方を対象とした世帯賛助会費については、毎年7月から各自治会・町内会の皆様のご協力のもと、とりまとめているございます。

法人賛助会費にご協力いただいた皆様

令和5年1月末日現在 (順不同・敬称略)

- (株)アム ● (学)愛光学園 ● (株)アイシマ
- 相原造園土木(株) ● (株)アクティブ ● (株)あんざい
- (株)伊興 ● (有)朝日スポーツセンター イシケンスポーツ瀬谷店
- (有)一里山ゴルフセンター ● (株)岩本工業 ● (株)エムズプロ
- (株)エムテック松崎 ● (株)オオスミ
- (有)カネココンストラクション ● 川口白鳳(株) ● (株)川口ビル
- (株)国際連邦警備保障 ● (株)小松工業 ● 相模興産(株)
- (株)佐川商事 ● (株)ジャパンドットサンサービス
- (有)上越建設 ● 瀬谷交通(有) ● 瀬谷総合開発(株)
- (有)第一産業 ● (税)TMP ● (特非)ワーカーズわくわく
- (有)トーワ ● (株)日生設備 ● (株)ハクハウエンタープライズ
- (有)橋田商事 ● (有)平本ビル ● (医)碧波会 かわしま歯科医院
- (株)細谷興業 ● 三ツ境交通(有) ● (株)三ツ境生花園
- (有)三福屋 ● (有)山百合商事 ● (一社)横浜市瀬谷区医師会
- 横浜単人中学・高等学校 ● (株)連合社印刷
- (株)松下コンクリート建材 ● (株)白光社 ● (株)カナコン
- (医)産育会 堀病院 ● 日栄建設(株) ● 平田自動車工業(株)

※賛助会費は確定申告の際、寄付金控除の対象となります。



せやまる・ふれあい館
 横浜市多機能型拠点ごまち
 ●ニッポン小学校
 ●シャローム三育保育園
 ●ローソン
 ●ゆず庵
 ●ニッポン高等特別支援学校

● アクセス
 相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約12分
 または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

● 駐車場
 26台 ※障害者用駐車場2台
 ※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

開所時間
 ■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/8:45～17:15
 ■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00
 ■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00(年末年始を除く)

編集後記
 シンポジウムの内容を広く知って頂くとの趣旨のもと今回の「ほのぼのせや」は支えあう地域づくりの取り組みを中心に編集されています。地域での活動事例を知ることで、各団体の活動に興味をもっていただくと幸いです。地道な活動が途絶えることなく、課題となっている担い手不足が解消されることを願うばかりです。(飯塚委員)

広報委員会
 委員長 ● 水村 明 (瀬谷第一地区社協)
 副委員長 ● 浅見 昭男 (瀬谷第四地区民児協)
 飯塚 陵子 (ワーカーズわくわく) / 彌登 章 (瀬谷第四地区社協)
 鈴木 美幸 (ほっぺ) / 氏原 哲 (瀬谷北部地区民児協)

ほのぼのせや



承認 瀬谷区第12号

<http://seyaku-shakyo.jp>

第4期瀬谷区地域福祉保健計画

「暮らしやすいまちづくりの計画」の推進シンポジウムが開催されました

令和4年11月19日(土) 14時～16時 あじさいプラザ 参加者数 ● 84名

テーマ 基本目標Ⅰの「“おたがいさま”で支え合う地域づくり

地域の見守り活動に焦点を当て、住民同士が見守り、見守られながら取り組んでいる地域活動の事例が紹介されました。

● 第1部 基調講演 講師 ● 瀬谷区高齢・障害支援課長 小西 美香子

「過去の災害から考える おたがいさまで支え合う地域づくり～見守り合いの地域活動～」

東日本震災の際、発災後早い時期に保健師として被災地支援をした実体験から、「平時に出来ないことは災害時にも難しい」「災害によっては誰もが支援が必要になり得る」と事例を交えた説得力のある話がありました。「日頃の顔の見える関係づくりを進めることが、平時の見守り合いに繋がるだけでなく、災害時には助け合いの大きな力になるので、ご近所、自治会町内会お互いさまで出来ることから始めましょう」と後押ししていただきました。



● 第2部 地区の取組発表 (詳しくは中面で紹介しています)

瀬谷第四地区、細谷戸地区、瀬谷第一地区、宮沢地区の代表の方から、見守りの取組で大事にしていること、課題について発表していただきました。

暮らしやすいまちづくりの計画とは…

瀬谷区地域福祉保健計画の愛称です。誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指す計画で、「区計画」と12地区ごとの「地区別計画」で構成されています。

瀬谷区をこんなまちに 3つの基本目標

<p>基本目標Ⅰ</p> <p>“おたがいさま”で支え合う地域づくり</p> <p>孤立している人がいない、みんなで気づき、支え合う“おたがいさま”が根付くまちにしていきます。</p>	<p>基本目標Ⅱ</p> <p>健康でいきいきと暮らせる地域づくり</p> <p>年齢や障害の有無に関係なく、互いに理解し合い、元気で生きがいを持って暮らせるまちにしていきます。</p>	<p>基本目標Ⅲ</p> <p>誰もが活躍できる地域づくり</p> <p>誰もが身近な地域の活動に参加でき、それぞれの立場で活動できるまちにしていきます。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

瀬谷第四地区 「楽老峰自治会 見守り隊の活動」



高齢世帯や独り暮らし世帯の増加による日頃の見守り・支え合い活動の必要性から、平成26年より、自治会で「見守り隊」を結成。最初に要援護者の把握をしマップにして共有。さまざまな活動を通して、日ごろから要援護者との顔の見える関係になるよう工夫しています。

田辺 亀久男氏

- 主な取組**
- ①要援護者宅への戸別訪問・パトロール＝顔の見える関係づくり
 - ②地域行事への参加の呼びかけ（子ども会、自治会との連携）

- 大切にしていること**
- ・一方的な見守り活動ではなく、見守り見守られるおたがいさまのつながりを大切にしたい地域づくり
 - ・要援護者自身が助けてと言える安心な地域づくり



細谷戸地区 「地域の見守りについて」



住宅内で何人もの孤独死を目の当たりにし、このような状態になる前に何とかならないだろうか。という思いからハチの巣のように細分化した組織「ビーハイブ実施委員会」による地域の見守りを開始。「向こう三軒両隣」の住民同士が声を掛け合い、日頃から気軽に付き合える関係づくりを目指しています。

木下 信義氏

- 主な取組**
- ①県営住宅の空き部屋を借り、高齢者や子どもたちの「地域のおあしす」として「おあしす102」の無料開放を実施。体操、お茶飲み会などの開催
 - ②移動販売、住民清掃等での見守りと交流

- 大切にしていること**
- 「心が通じる地域づくり・地域は家族」～高齢化社会のおあしす地域～を目指している。・・・だけど、地域の力だけで支えるには限界がきている。



瀬谷第一地区 「WAT運動その特徴と最新状況」



高齢者の孤独死が社会問題化、そこに見守りの灯りを当てたかったということから、WAT運動（見守り活動）は生まれました。

水村 明氏

- 主な取組**
- ①普段のさりげない見守り→安心キット（救急医療情報キット）の普及
 - ②新聞販売店との協力・連携



- ③WAT運動の認知度引上げ＝WAT看板の制作と掲示

- 大切にしていること**
- 活動は継続だけでなくイノベーションが必要。イノベーションとは、活動内容を絶えず見直しすることです。



W=Watching（注意深い見守り）
A=Action（行動する）
T=Team（チーム（仲間））

左記の頭文字と電灯のワットをかけたのがWATの語源です。

宮沢地区 「つながりをたやさない宮沢のまちづくり」



居住歴の長い住民が多い地区の特徴をいかし、定例の話し合いを大切にしながらゆるやかに見守り合う町のような紹介されました。

清水 敬友氏

- 主な取組**
- ①コロナ禍でサロンが中止になっても役員会は継続して実施⇒地域で見かける未曾有の出来事の報告を共有したい「まずは顔を見れば安心するからさ」
 - ②理事が集まるだけでたくさんのまちの声が集まってきた。⇒話し合いは徐々に「できない」から「どうやったらできる？」へ



- 大切にしていること**
- ・できること、できないことも、みんなで話し合ったら何か見える。
 - ・みんなの声が直接聞ける話し合いを大切にしたい。

- 参加者の感想**
- ★要援護者が把握できるマップは参考になった。住んでいる地区でも同じようなシステムを作ってほしい。
 - ★新聞販売店と協力・連携は素晴らしい。
 - ★宮沢地区の地道な活動を継続することの大切さを感じた。
 - ★細谷戸地区の「おあしす102」は素晴らしい地域力だと思います。担い手不足は共通の悩みです。
 - ★自分の地区でもやっているが、もう一歩踏み込んでやらなくてはいけないと考えさせられました。

瀬谷区移動情報センター事業

ガイドボランティアによる、あたたかい見守り “おたがいさま”で支え合う地域づくり

ガイドボランティア事業を通じて、同じ地域に住む住民として出会い、日々のくらしの自然なつながりの中で育まれる「おたがいさま」の関係が広がっています。

■横浜市ガイドボランティア事業とは…（横浜市独自事業）

障害のある方が外出する際に付き添いボランティアをコーディネートする事業です。瀬谷区では約50名のボランティアが登録し、登校の付添い等の活動を行っています。



利用者からの声

困ったときに相談できる
緩やかなつながりが心地よくて安心。



学校などの支援者だけでなく近所の知り合いが増えたことがうれしい。

親や先生以外の関わりで、子どもが人との距離感を学んだり、説明が上手になったり、目を見張るほど成長が見られます。わずか十数分の朝の時間でも、その子どもにとっては生活の大事なひとときです。

ボランティアの声

人との関わりから生まれる小さな気づきが自分の成長に
なっています。



通学支援は自分の運動の機会にもなり自分のハリになっています。

ガイドボランティア活動をきっかけに「ガードレールのない道が危険だ。」「道に迷っている高齢者に声をかけた。」などさまざまな角度からの見守りの意識が広がっています。

コーディネーターの声

ガイドボランティアの支援によって、日頃のちょっとした家庭のやり取りや、朝食抜きで登校する子どもの様子など、家庭の様子も垣間見え、細やかな支援ができます。



区社協事業を通して人が繋がりが
気になれ、支え合う関係が生まれています。



障害理解だけでなくさまざまな角度から見守りの目が広がっています。

功労者表彰

令和4年度 全国社会福祉大会

- 厚生労働大臣表彰 瀬谷区手話サークル杉の会
- 厚生労働大臣感謝 「明るい社会をつくる」いちょうの会

令和4年度 神奈川県社会福祉大会

- 神奈川県社会福祉協議会会長感謝 三ツ境このは会
- 神奈川県社会福祉協議会会長表彰 ひよこサロン
- 神奈川県共同募金会会長感謝 大柴 正清/さかいが丘自治会

令和4年度 横浜市社会福祉大会 令和4年11月4日(金)

- 横浜市社会福祉協議会会長表彰
阿久和北部地区社協/阿久和南部地区社協/三ツ境地区社協
瀬谷第一地区社協/本郷地区社協/瀬谷北部地区社協
瀬谷第二地区社協/細谷戸地区社協/瀬谷第四地区社協
南瀬谷地区社協/宮沢地区社協/相沢地区社協/夢の宝箱
特別養護老人ホームみなみの苑
- 横浜市社会福祉協議会会長感謝
下瀬谷こども食堂実施委員会/カフェ・スマイル/カフェド・せや
小川 富貴子/瀬谷区更生保護女性会

令和4年度 瀬谷区社会福祉功労者表彰 令和4年10月28日(金)

安齊 操/岡田 桂子/小川 智恵子/川崎 かの子/斉藤 秀一
酒井 孝子/佐々木 志保/佐藤 たま子/澤谷 信子/塩原 道子
遠山 丈晴/中澤 久美子/船矢 幸雄/堀越 千恵子/彌登 圭子
由月 照也/渡辺 菊枝/北新サロン/虹の架け橋/森の体操
ゆうスリー/小川 富貴子/吉川 京子/株式会社 佐野銘材

